



Banco MUFG Brasil S.A.

Treasury & Markets
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

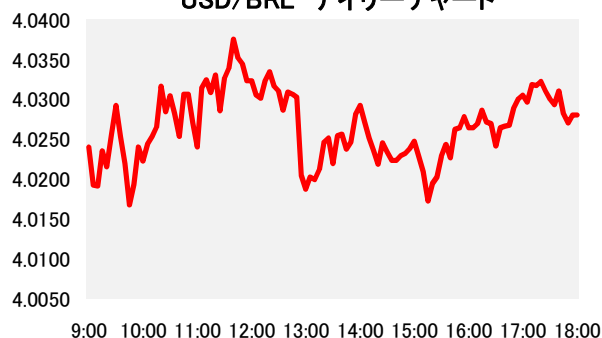
			8月15日	8月16日	8月19日	8月20日	8月21日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.9930	4.0060	4.0750	4.0560	4.0280	-0.0280
	BRL/JPY	Spot	26.590	26.550	26.17	26.20	26.47	+0.27
	EUR/USD	Spot	1.1108	1.1091	1.1079	1.1101	1.1086	-0.0015
	USD/JPY	Spot	106.17	106.37	106.63	106.24	106.61	+0.37
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	5.077	5.177	5.081	5.195	5.291	+0.095
	Future	1Year(p.a.)	5.342	5.289	5.354	5.330	5.260	-0.070
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.648	2.609	2.631	2.665	2.736	+0.072
	USD	1Year(p.a.)	2.399	2.361	2.402	2.422	2.468	+0.047
株式	Bovespa指数		99,056.90	99,805.80	99,468.70	99,222.30	101,201.90	+1,979.60
CDS	CDS Brazil 5y		141.21	139.02	138.31	139.32	136.90	-2.43
商品	CRB指数		170.035	170.405	170.777	170.895	170.909	+0.01

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
MBA住宅ローン申請指数	--	-0.90%	21.70%
中古住宅販売件数	5.40m	5.42m	5.29m
中古住宅販売件数(前月比)	2.50%	2.50%	-1.30%

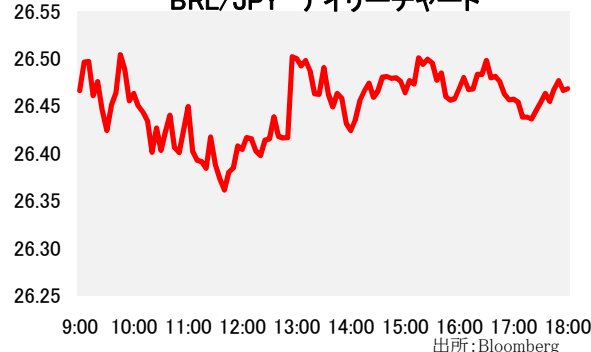
USD/BRL デイリーチャート



3. 要人コメント

米トランプ大統領	(中国との貿易戦争について) 「恐らく取引を行うことになる」
----------	--------------------------------

BRL/JPY デイリーチャート



4. トピックス

- 本日のレアルは続伸。4.0260での寄り付き後、中銀によるスワップのロールオーバーと同時に直物のドル売りが初めて実施されたが、当初550百万米ドルオファーされたのに対して、実際に売却されたのは200百万ドルのみにとどまったことでレアルはやや弱含み、日中安値4.0378をマーク。その後は、米トランプ大統領が中国との貿易戦争について、歴代大統領が同国との不公平な貿易慣行を放置したことを糾弾した一方で、自身が恐らく取引を行うとの考えを表明したことで、同問題に対する不安が後退。これを受けてレアルはやや小幅に反発し、日中高値4.0160まで上昇した。その後は方向感なく推移した後、結局4.0270でクローズした。
- 足許、米国の金融政策の行方についての関心が高まるなか、本日は7月FOMCの議事録が発表された。同会合後の記者会見でパウエル議長は25bpsの利下げについてサイクル半ばの調整と説明したが、議事録においても「継続して行われている再検証の一環」と同様の認識が示された。目新しい材料には乏しく相場への影響は限られた。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関し生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。